

新入生アンケートに見られる 平成 26 年度入学生の特徴

原田徳彦*1 長廣恭子*2 三浦靖一郎*3

西尾幸一郎*4 松尾葉子*5

The Characteristics of the Freshmen in 2014 —An Analysis Based on the Results of a Questionnaire to the Freshmen—

Norihiko HARADA, Kyoko Nagahiro, Seiichiro MIURA
Koichiro NISHIO and Yoko Matsuo

Abstract

The number of the applicants to the Tokuyama College of Technology has decreased over the past 10 years due to a declining birthrate. How does the decrease influence the will to learn of freshmen? We have been conducting a questionnaire of the freshmen in the student counselor's office of Tokuyama College of Technology since 2001. We studied the changes in the characteristics of the freshmen over 10 years by comparing the results of the questionnaire between the freshmen of 2004 and 2014. Regardless of the decrease in the number of applicants, a drop was not seen, even if we compared the will to learn, hope for student life, and satisfaction with entering school ten years ago. Some departments even developed into a considerably better state than ten years prior.

Key Words : declining birthrate, learning will of students, questionnaire to freshmen

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成 13 年度から「学生相談室プログラム」*の一環として新入生アンケートを実施している。新入生アンケートはオリエンテーションの学生相談室の紹介の中で行う。アンケートは記名式で、学生個人の入学時の心の状態を把握し、その後の学生生活のサポートに資することを目的と

する。

徳山高専への入学が不本意だった学生、入学した学科が不本意だった学生、入学したことに満足していない学生、学習意欲が低い学生、これからの学生生活を楽しみと思えない学生を把握し、学生相談員との面談へつなぐ。面談の誘いは他の学生に分らない様に手紙を渡す方法をとっている。強制はしな

*1 情報電子工学科

*2 一般科目（数学）

*3 機械電気工学科

*4 土木建築工学科

*5 学生課学生係

*学生相談室プログラムについては、国重、佐々木²⁾や佐々木、国重³⁾に詳しく論じられている

いので面談に来ない学生もいるが、本当に困ったときに相談に来やすいように、学生相談室の存在を認識させておくことにも意義があるだろう。

少子化の影響で入学志願者数が徐々に減少してきており、それに伴う競争倍率の低下は入学生の学力レベルの低下へとつながることは言うまでもない。しかし、入学時の学力レベルが入学後の学習意欲と直結した問題であるかどうかよく見極める必要がある。入学時の学力レベルが低くても、入学の後の学習意欲が高ければ、高い学力で入学しても低い学習意欲の場合よりも良い結果となる可能性は大きい。

今回、比較的志望倍率の高かった平成 16 年度と今年度(平成 26 年)の新入生アンケートの結果を比べ、新入生全体の特徴として 10 年で変わったことと変わらないことを俯瞰しつつ、個々の学生のサポートにつなげていきたい。

2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤(1998)¹⁾の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専に修正し作成したものである。

アンケート対象は、平成 26 年度一年生全員 121 名(機械電気：40 名、情報電子：40 名、土木建築：41 名)である。アンケートの回収率は 100%であった。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで()内に示してある。

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。

(a) 自宅通学生	95 (78.5)
(b) 寮生	26 (21.5)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。

(a) はい	120 (99.2)
(b) いいえ	1 (0.8)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

(a) 小学生の頃	4 (3.3)
(b) 中学 1 年生の頃	18 (14.9)
(c) 中学 2 年生の頃	20 (16.5)
(d) 中学 3 年生の頃	79 (65.3)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

(a) はい	118 (97.5)
--------	------------

- | | |
|---------|---------|
| (b) いいえ | 3 (2.5) |
|---------|---------|
5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

(a) はい	118 (97.5)
(b) いいえ	2 (1.7)
無回答	1 (0.8)
 6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

(a) 入学しやすい	2 (1.7)
(b) いいところに就職できる	103 (85.1)
(c) 通学の便がいい	6 (5.0)
(d) 経済的な理由	10 (8.3)
(e) 先生や親にすすめられた	45 (37.2)
(f) 自由な校風だから	30 (24.8)
(g) 先輩・知人がいる	22 (18.2)
(h) 兄弟がいる	7 (5.8)
(i) 自分の志望に合っている	75 (62.0)
(j) 他に入学するところがなかったから	2 (1.7)
(k) 何となく	7 (5.8)
(l) その他	8 (6.6)
 7. あなたは中学校時代に満足 of いく学校生活が送れたと思いますか。

(a) とても満足している	67 (55.4)
(b) 一応満足している	46 (38.0)
(c) あまり満足していない	8 (6.6)
(d) 全く満足していない	0 (0)
 8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

(a) とても満足している	82 (67.8)
(b) 一応満足している	37 (30.6)
(c) あまり満足していない	2 (1.7)
(d) 全く満足していない	0 (0)
 9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

(a) 専門的な学問・技術を身につけるため	101 (83.5)
(b) 教養を高め人間的に成長するため	44 (36.4)
(c) 先生や友人と交流するため	11 (9.1)
(d) いいところに就職するため	86 (71.1)
(e) 学生生活をエンジョイするため	36 (29.8)

- (f) 専攻科や他の大学に進学するため
18 (14.9)
- (g) 何とはなしに
6 (5.0)
- (h) その他
2 (1.7)
10. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
- (a) 十分意欲がある
44 (36.4)
- (b) 一応意欲がある
68 (56.2)
- (c) あまりない
7 (5.8)
- (d) 全くない
2 (1.7)
11. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。
- (a) とても不安である
47 (38.8)
- (b) 少し不安である
62 (51.2)
- (c) あまり不安ではない
10 (8.3)
- (d) 全く不安ではない
2 (1.7)
12. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。
- (a) 強くそう思う
56 (46.3)
- (b) 少しそう思う
47 (38.8)
- (c) あまりそうは思わない
13 (10.7)
- (d) 全くそうは思わない
5 (4.1)
13. 自分には徳山高専で友人ができないのではな
いかと心配ですか。
- (a) とても心配である
8 (6.6)
- (b) 少し心配である
41 (33.9)
- (c) あまり心配ではない
55 (45.5)
- (d) 全く心配ではない
17 (14.0)
14. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい
楽しみですか。
- (a) とても楽しみである
79 (65.3)
- (b) 少し楽しみである
40 (33.1)
- (c) あまり楽しみではない
2 (1.7)
- (d) 全く楽しみではない
0 (0)
15. あなたは自分が将来どんな職業につき、どん
な人になりたいか、すでに心の中で決めてい
ますか。
- (a) はい
64 (52.9)
- (b) いいえ
57 (47.1)
16. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をし
たり、相談に乗ってもらえるような同性の親
友がいましたか。
- (a) はい
110 (90.9)
- (b) いいえ
11 (9.1)
17. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。
- (a) はい
109 (90.1)
- (b) いいえ
12 (9.9)
18. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をし
たり、相談に乗ってもらえるような同性の親
友がいますか。
- (a) はい
60 (49.6)
- (b) いいえ
61 (50.4)
19. あなたはある程度親しくつき合っている異性
の友人がいますか。
- (a) はい
58 (47.9)
- (b) いいえ
63 (52.1)
20. 今までに、反抗して親を手こずらせたことが
ありますか。
- (a) はい
60 (49.6)
- (b) いいえ
61 (50.4)
21. 今までに、失敗や挫折をしてすぐ悩んだこ
とがありますか。
- (a) はい
75 (62.0)
- (b) いいえ
46 (38.0)
22. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは
次のどのような内容について相談してみたい
ですか。該当するものすべての記号を○で囲
んで下さい。
- (a) 勉強のこと
89 (73.6)
- (b) 今まで知らなかった人たちとの出会いに
関すること
15 (12.4)
- (c) 家庭のこと
2 (1.7)
- (d) 自分の性格のこと
17 (14.0)
- (e) 心の健康に関すること
4 (3.3)
- (f) 体の健康に関すること
14 (11.6)
- (g) 性に関すること
1 (0.8)
- (h) 友人関係のこと
19 (15.7)
- (i) 恋愛に関すること
7 (5.8)
- (j) 徳山高専が自分に合っているかどうか
に関すること
16 (13.2)
- (k) 進学のこと
25 (20.7)
- (l) 就職のこと
48 (39.7)
- (m) その他
1 (0.8)
23. 前問で挙げてある項目の中で、「今すぐ」あな
たが相談をしたい事柄があれば、その記号を
すべて○で囲み、具対的に詳しくその相談内
容を自由に書いてみて下さい。
- ※以下の質問には、寮生の人だけ答えて下さい。
24. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。
- (a) とても不安である
1 (3.8)
- (b) 少し不安である
14 (53.8)
- (c) あまり不安ではない
11 (42.3)
- (d) 全く不安ではない
0 (0)
25. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思

いますか。

- (a) とても寂しい 2 (7.7)
- (b) 少し寂しい 3 (11.5)
- (c) あまり寂しくない 16 (61.5)
- (d) 全く寂しくない 5 (19.2)

26. 寮を出て自宅から通学したいですか。

- (a) 是非自宅通学したい 0 (0)
- (b) 少し自宅通学したい 8 (30.8)
- (c) あまり自宅通学したくない 12 (46.2)
- (d) 全く自宅通学したくない 6 (23.1)

27. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか。

- (a) はい 0 (0)
- (b) いいえ 26 (100)

28. (27. で、「はい」と答えられた方へ) それはどのような事柄や悩みですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

- (a) 一人暮らしについて ()
- (b) 寮の施設・設備について ()
- (c) 先輩との関係について ()
- (d) その他 ()

29. 寮生活に関する質問や悩み、訴えたいこと、「今」何となく考えていることなど何でもかまいません。自由に書いて下さい。

3. アンケート結果に見られる主な特徴

学科ごとの男女比についてみると、情報電子工学学科では10年前より女子学生の割合が減少した(図1)。

問1「あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。」の結果を図2に示す。学科ごとの寮生の比率はほぼ同じ比率となった。情報電子における寮生の割合は県内唯一の土木建築よりやや多いことが分かる。

問3「あなたが徳山高専に進路を決定したのはいつですか。」の結果を図3に示す。情報電子では進路決定の時期が他の学科より平均的に遅い傾向がある。情報電子は、小学校や中学校の低学年に対するPRが期待される。

問4「徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。」の結果を図4に示す。情報電子においては、倍率の高かった10年前と比べても第1希望の割合はほぼ同程度であることが分かる。

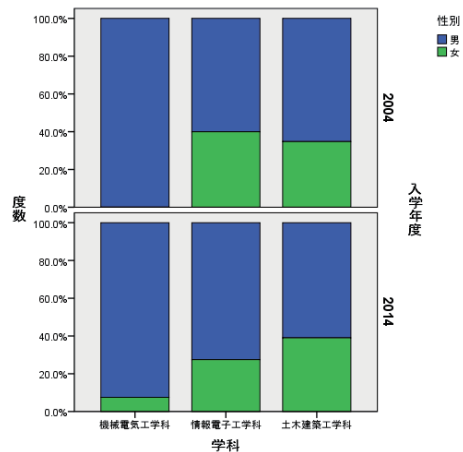


図1 各学科における女子の比率

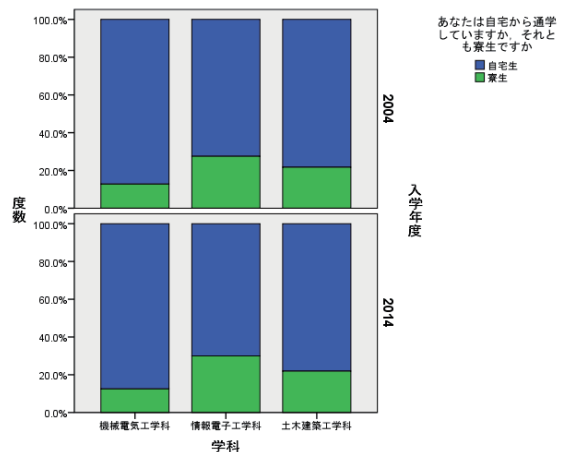


図2 各学科における寮生の比率

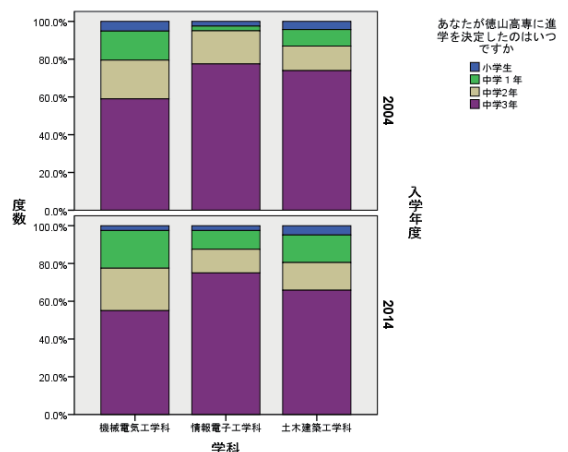


図3 各学科における進路の決定時期

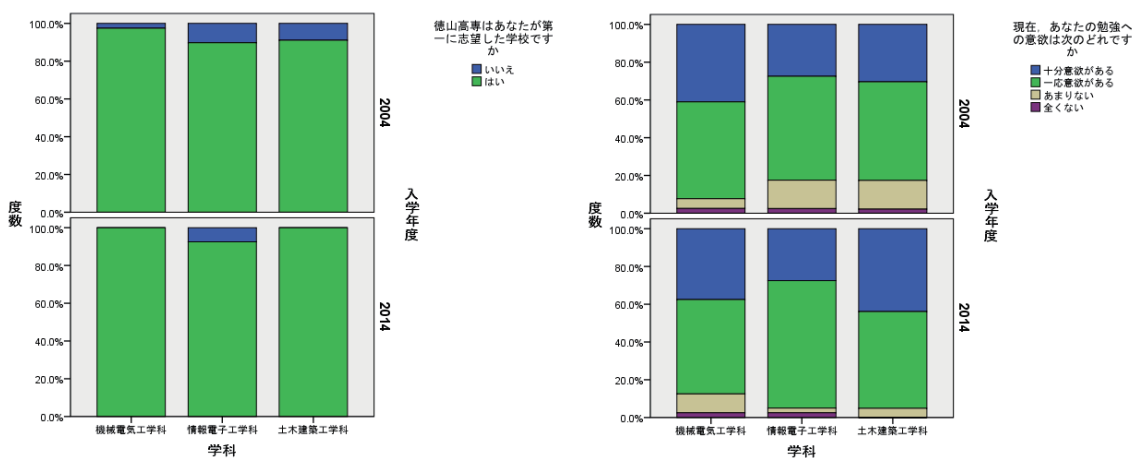


図 4 各学科における第一志望学校割合

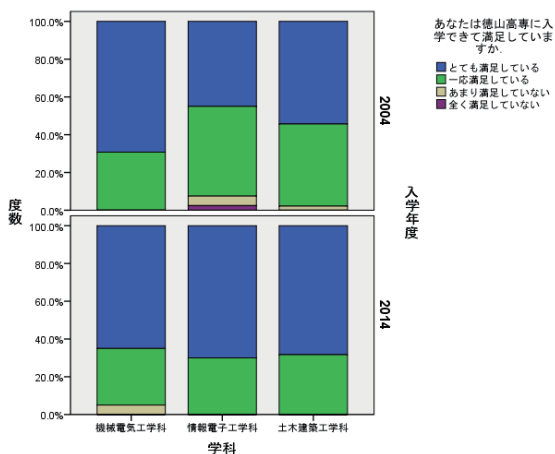


図 5 各学科における入学に対する満足感

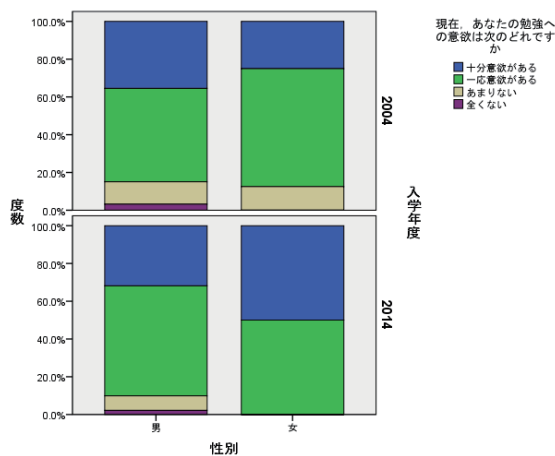


図 6 学習意欲

問 8 「あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。」の結果を図 5 に示す。情報電子と土木建築においては 10 年前に比べて入学に対する満足の割合が大きくなり、機械電気と同程度となった。

問 10 「現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」の結果を図 6 に示す。入学満足感と同様に学習意欲の割合も大きくなった。特に、土木建築の学習意欲が高くなった。男女の別でみると女子が改善した。

問 11 「あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。」の結果を図 7 に示す。機械電気において、勉強に対して強い不安を持つ学生の割合が 10 年前より大きくなった。男女別でみると女子

において不安を感じる割合が大きい。

問 14 「あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。」の結果を図 8 に示す。情報電子、土木建築において、10 年前に比べて学生生活への期待が高くなった。また、男女別でみると、女子における学校生活への期待が 10 年前に比べて高くなった。このことは学習意欲と共通した特徴である。女子において、学習意欲と学生生活への期待の間にやや高い相関（相関係数：0.41）が見られた。

問 15 「あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。」の結果を図 9 に示す。土木建築において、自分の未来像を描けている学生の割合が 10 年前よりさ

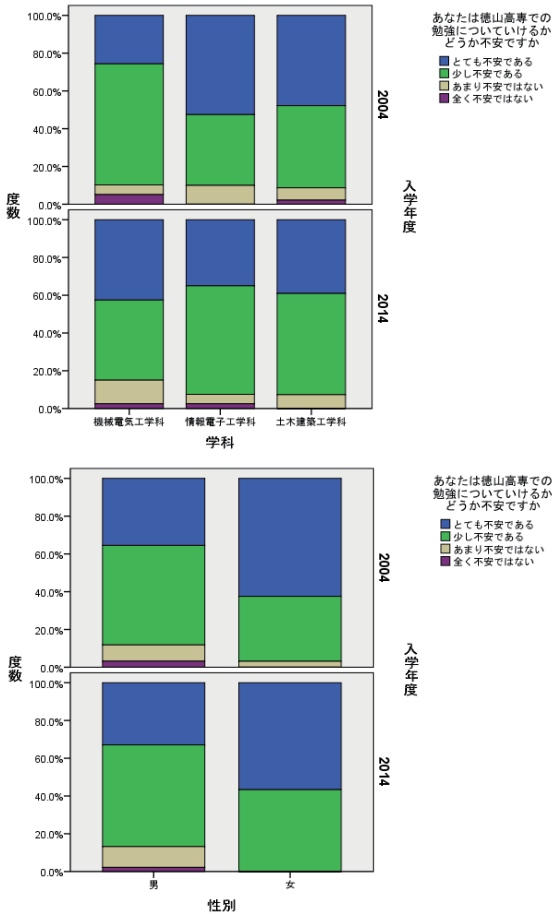


図7 勉強への不安

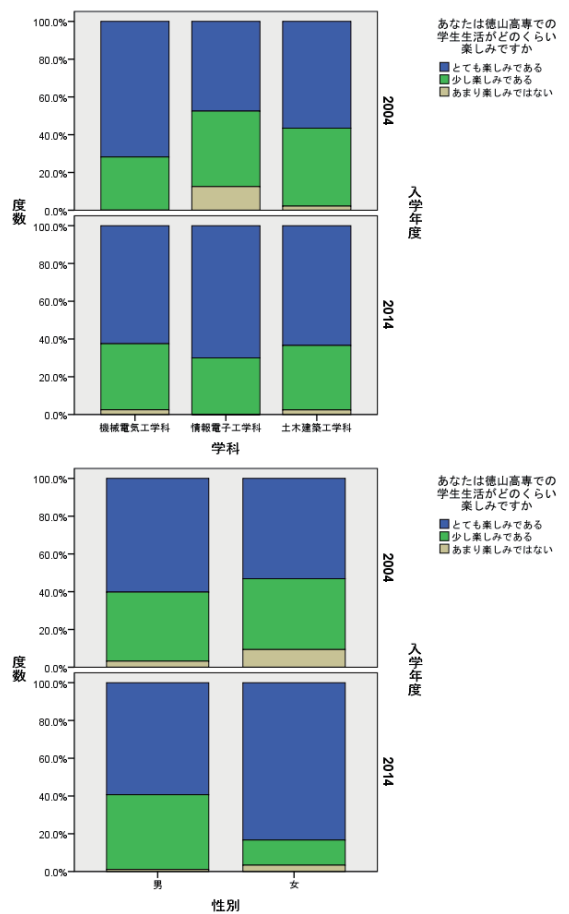


図8 学生生活への期待

らに高くなった。一方、情報電子はその割合が後退した。

問19「あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。」の結果を図10に示す。男女別にみると、女子において、10年前より交際している割合が高くなっている。

問6「あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図11に示す。「いいところに就職できる」が一番多い理由であり、「自分の志望に合っている」が次に多い理由である。中学生へのPRはこの2つに絞ってより良いプレゼンや体験授業を行えばよい。入学動機として主な項目は10年前とあまり変わらないが、「自由な校風だから」については10年前より後退している。

問9「あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図12に示す。入学の目的について、主な項目は10年前と変わりはないが、教養を高めるためと答えた割合は大きくなった。

問22「学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図13に示す。進学について関心は減少したものの、勉強と就職についての関心が依然と大きい。

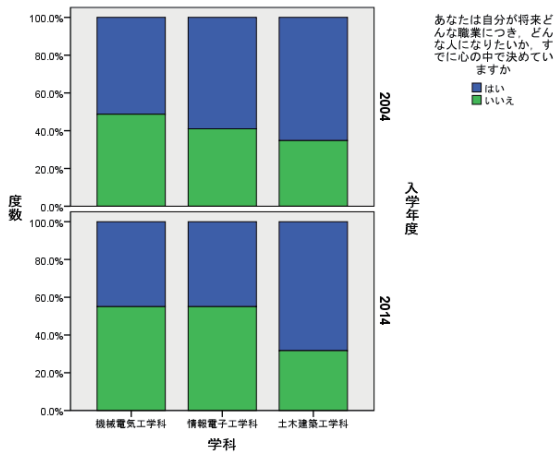


図 9 自分の職業や将来像

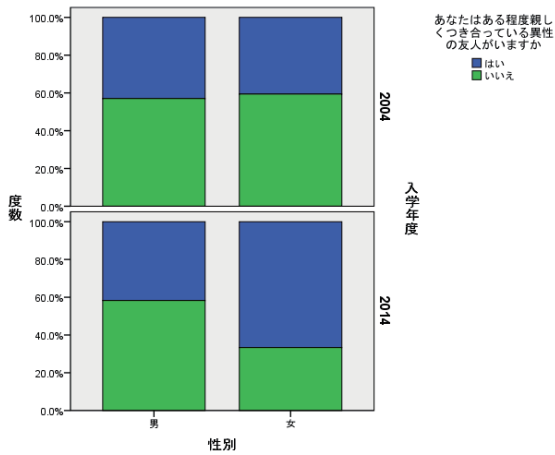


図 10 異性との交際

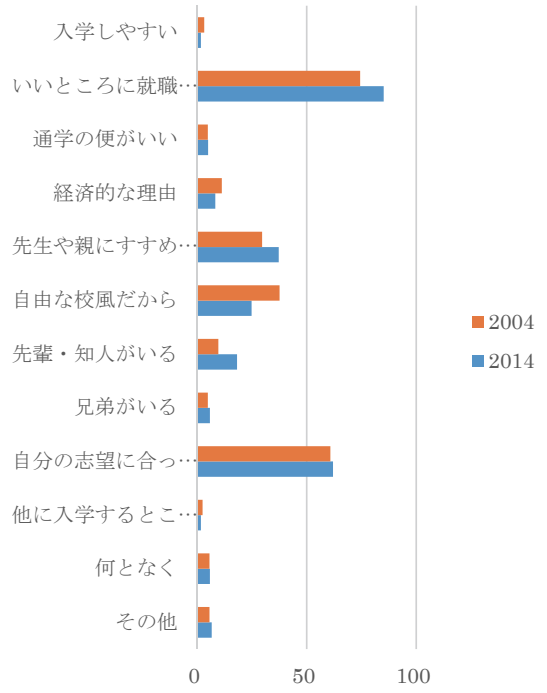


図 11 入学動機

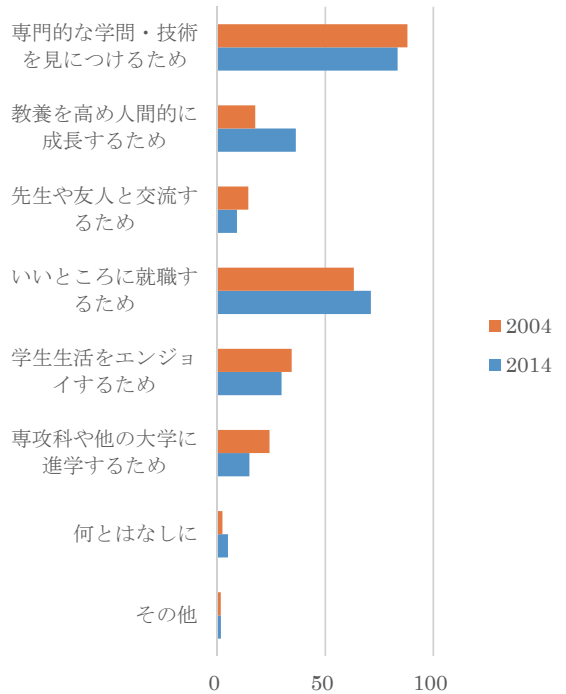


図 12 入学の目的

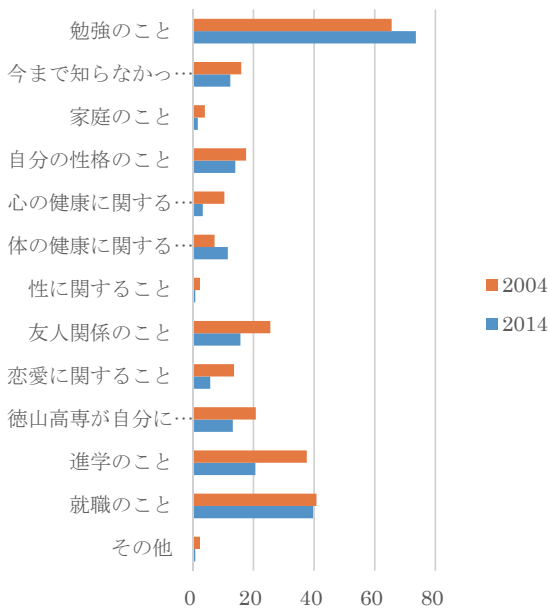


図13 相談してみたいこと

文献

- 1) 鳴澤: 新入生の実態調査, 東京都立大学学生相談室レポート, 9, PP. 6-42 (1980)
- 2) 国重, 佐々木: 新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について, 論文集「高専教育」, 第25号, PP. 455-460 (2002)
- 3) 佐々木, 国重: 高専における学生相談の具体的活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——, 論文集「高専教育」, 第25号, PP. 461-466 (2002)

4. まとめ

新入生アンケートを10年前の結果と比べた。少子化による受験者数の減少という状況にもかかわらず、新入生の学習意欲、学生生活を楽しみにする割合、入学についての満足感は上昇し、好ましい状態といえる。

学科別にみると、機械電気は学習に対する不安が少し増加しているが、他の回答結果は好ましい傾向を維持している。情報電子において、競争率の減少による学習意欲等への影響は見られない。入学した学生の学習意欲の維持に留意が必要である。土木建築は10年前と比べほぼすべての面で好ましい状態に変化している。PR活動が功を奏している。

情報電子は志望の決定時期が比較的遅いこと、入学動機の「自分の志望に合っている」の割合が他学科に比べて低いことなどの特徴がある。情報電子の志願者を増加させるためには、小中学校に向けた体験授業などのPR活動を充実させてはどうだろうか。